



毎年9月1日防災の日に、私たち東北地方整備局職員の防災能力の向上を目的とした「総合防災訓練」を実施しています。
今回の訓練では「令和5年9月1日09:40直下型地震発生、全出張所管内の震度 震度6弱」を想定し、被災状況の伝達や情報共有など、迅速かつ的確に対応出来るように災害対応の訓練を行いました。

「防災の日」は1923年9月1日に発生した関東大震災にちなんだものである。また例年この時期に台風の襲来が多いとされていることもあり、「災害への備えを怠らないように」との戒めも込められています。

今から100年前



巡視からの被災報告を受けています。



TV会議システムを使って工事現場の被災状況を報告中。



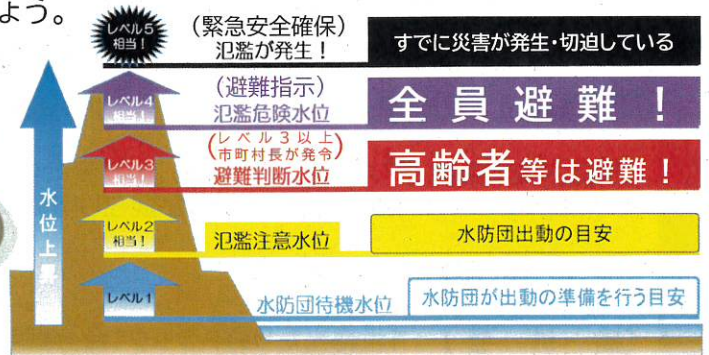
▲ホワイトボードに集めた情報を記入するのは、災害対応の基本です。

日本は季節の変わり目に梅雨前線や秋雨前線が停滞し、しばしば大雨になります。そして7月～9月は台風シーズンとなりますが、最近では地球温暖化現象の影響で記録的豪雨も頻発しています。そんな中、自身が命を守るためにできることはなんでしょう。

自分の住んでいる場所が災害にあうなんて、誰も想像できないし、したくない。だけど、自然災害はどこで起きるか予測が難しいし、止められません。だから…

事前の備えが大事だということを知って欲しい!

まずは今、自分ができることをやってみましょう。



風水害を防ぐには…(家の周りの保全)

- ①雨戸や屋根を補強する。アンテナは固定する。
- ②鉢植えや物干し竿など、風で飛ばされそうな物は室内へ入れるか固定する。
- ③ブロック塀や外壁のひび割れや亀裂があれば補強する。
- ④側溝や排水溝は掃除し、水の流れをスムーズにしておく。



風水害から身を守るには…

- ①家の周りの保全
- ②TVやラジオなどの気象情報、防災関係の広報に注意しておく。
- ③水や食料など避難する際に必要な物の準備。
- ④避難に備え、非常用持ち出し袋や避難場所、避難経路の確認。
- ⑤大雨や洪水、暗闇などでの避難は大変危険です。

① 日頃から

我が家は大丈夫?



ハザードマップポータルサイト
<https://disaportal.gsi.go.jp/>
様々な防災に役立つ情報を提供しています。

② 大雨の時

川があふれそうで心配…



国土交通省 川の防災情報
<https://www.river.go.jp/>
川の状況を知りたい、など。

③ 避難の時

身近な人に呼びかけて!



逃げなきゃコール
<https://www.mlit.go.jp/>
離れた場所でも緊急速報メールが受け取れます。

避難時に必要な物はそれぞれ違います。準備出来る物から揃えておきましょう。



災害が起きる前の今こそ、ハザードマップポータルサイトなど、命を守るツールを利用し避難計画・防災対策に役立ててください。

まずは上記の3つを活用してほしいです。



第1回 安全パトロール

安全第一



点検後は点検結果を踏まえた検討会を実施し、安全意識の共有を図りました。

8月30日(水)工事現場での事故を防止するため、事故防止対策委員会の委員と施工業者が工事現場に出向き、安全パトロールを実施しました。今回は「大石田地区河道掘削工事」と「大石田地区維持工事現場事務所」の2箇所について、作業をする上で危険な箇所はないか、安全対策はとられているか等の点検を行い、指摘のあった箇所については速やかに改善しました。



安全対策のため、作業員の通路の境界を明示する事。

改善前

改善後

盛土仮置き場と作業員の通路の境界を兼ね、盛りこぼれ防止の土留めを構築しました。

盛土

歩行者通路

大石田地区河道掘削工事 工事現場

ボート巡視

9月7日(木)陸上からの巡視では発見しにくい川岸や護岸の状況をボートに乗って確認して行きました。7・8月は県内の雨の降る量が少なかった事から、最上川の水量も低下しており、ボートに乗れる人数が制限されるほどでしたが、安全運行を心掛け行いました。

結果:夏季に大きな出水がなかったため河岸は安定しており、緊急に対策が必要な箇所は見られませんでした。

河川を管理する上で重要な調査となるため、今後も水・陸からの河川状況の把握に努めてまいります。



大石田特殊堤の壁面に人物が描かれているのは知っていましたか?

商人の姿でしょうか?

最上川から見る大石田大橋

気になるところはボートを止めて確認します。

伐採木を無償で提供します

大石田出張所では資源の有効利用とコスト削減を図るため、工事で発生した伐採木を無償提供します。

【伐採木の種類】 スギなどの幹や枝(1m程度に切断済み)
※さまざまな樹種が混在しています。

【提供場所】 豊田堤防

【提供量】 1世帯当たり軽トラック1台分程度(提供出来る量が少ないため)
※予定数量 軽トラック約15台分

【申込・提供】 令和5年10月10日(火)~無くなり次第終了(先着順)

【申込方法】 大石田出張所に来所していただき、同意書(出張所にあります)に必要な事項の記入をお願いいたします。受付時間は8:30~16:30まで。電話での受付はいたしません。



※詳細は新庄河川事務所のホームページや「伐採木を無償で提供します」のチラシ(尾花沢市役所・大石田町役場へ配布)をご覧ください。



伐採木提供場所

亀井田橋

出典:地理院地図に位置情報を追記して掲載

公募除草のお知らせ

大石田出張所では、資源の有効利用と河川維持管理のコスト削減を図るため、河川区域の除草に協力していただける方を募集しています。簡単な条件を満たせば、どなたでも応募でき除草した刈草は家畜の飼料や堆肥の原料などに利用することもできます。

【除草場所】 大石田町横山地区・大石田地区の高水敷

【応募期間】 令和5年9月25日(月)~10月6日(金)先着順

【申込方法】 直接、大石田出張所に来所してお申し込み下さい。

【作業期間】 令和5年10月10日(火)~10月31日(火)

※詳細は「除草希望者を公募します」のチラシ(尾花沢市役所・大石田町役場へ配布)をご覧ください。

【発行】 国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 大石田出張所 (担当:本間・浅沼)

〒999-4113 大石田町大字今宿字鷺の原466-2 (TEL)0237-35-2024 (FAX)0237-35-2354

※「川通信 おおいしだ」をご覧くださいのご感想やご意見をお寄せ下さい。

※工事現場や河川管理施設をご覧くださいの方は、大石田出張所までご連絡ください。

ホームページもご覧ください!
<http://www.thr.milt.go.jp/shinjyou>

新庄河川

検索

